



# しおかぜ

## 春法会等開催について

今年も残すところ一月となりました。新型コロナウイルス感染症もオミクロン株が進出し、新しい局面を迎えるかもしれませんが、まだまだ予断を許さない状況ではあります。現在のところ2022年の「新春法会」を1月16日(日)10時より開催致します。多数の参加をお願い致します。



2021.11.21 宮城県教区研修会

また、今年最後の行事として、12月25日(土)に「昇級試験・入門式」及び一般拳士の「忘年会」を開催致しますので併せて宜しくお願い致します。

## 県教区研修会が開催されました

11月21日(日)、塩竈道院専有道場を会場に、宮城県教区内より30名の指導者による教区研修会が、開催されました。

午前中は、達磨祭から始まり、金剛禅に関する講義を4グループに分かれて開催、そして午後には2グループに分かれ技術講習を行いました。

こういった行事は、コロナ禍で2年振りであり、参加いただいた殆どの方より感謝の言葉をいただき実のある行事となりました。

## 大澤隆管長 縁起

### 自らに与えられた命



師走に入り、1年の終わりが近づいてまいりました。公私共に、年末年始の準備に余念がない方も多いことでしょう。この時期忘れてはならないのが、自分に与えられた命をこの1年どう使ってきたかを振り返ることです。

人生100年時代と言われるように平均

寿命は延びましたが、その命には限りがあります。そのことを意識することなく過ごしても、一瞬一瞬を大事に過ごしても流れる時間は同じです。そうであるならば、与えられた命、精一杯できることをやって生きていくのが大切です。金剛禅の布教拠点である全国各地の道院には、自も修行しながら金剛禅運動を先導する道院長達がいまいます。中には40年、50年、半世紀以上を道院長として1つの道を極め、布教活動を



教区研修(四段以上)

## 今後の予定

- ◎ 12月25日(土) 16:00~17:40 塩竈道院専有道場大掃除、昇級試験、入門式
- ◎ 12月25日(土) 18:00~20:30 一般拳士忘年会(ホルモンひょうたん)
- ◎ 1月11日(火) 塩竈道院稽古始め・1月12日(水)仙台杜都道院稽古始め
- ◎ 1月16日(日) 10:00~13:00 新春法会・新年会(塩竈道院専有道場)

行ってきた人たちもいます。高齢になっても正業を持ちながら、人を育て、地域や社会を良くしていくと開祖の志した人づくりのために奔走する姿は、これからの世の中の手本と言えるのではないのでしょうか。金剛禅運動を長く続けるためには熱意が必要です。周囲の協力を得ることも必要です。でも健康でなければ続けることができません。私たちの拳禅一如の修行は与えられた命を存分に使うためにあるのです。

「人はひとを幸せにするために生まれてくる」という前師家の言葉にあるように、私たちの命は、自分一人で完結するものではあ



年少拳士でカルタ

りません。私たちには開祖が遺された素晴らしい教えと技法もあります。このような恵まれた環境にあることに思いを馳せ、可能な限り、自分自身の持つ可能性を磨き、自分の命を最大限使っていたきたいと思えます。そのような人が一人でも多くなれば、世の中は必ず良くなります。

年の瀬が迫る忙しい時期にはなりますがこの1年、命をどう使ってきたかを振り返り、来年もダーマの徳性を発揮しながら共に金剛禅運動に邁進していきましょう。

## 中国古典 紹介

「小吏しょうりに接するにもまた礼を以つてす」を

### 掲載

『宋名臣言行録』

宋そうの太祖たいそに仕えた將軍そうひんに曹彬そうひんという人物がいた。ここぞというときには必ずこの人が総司令官に起用され、天下統一後は軍事面の最高責任者に任命されている。太祖の厚い信頼を得ていたのだ。それはむろん能力がすぐれていたからではあるが、たんにそれだけではない。かれの執務ぶりを見ると、その理由がよくわかるのである。

たとえば、朝廷で執務するときには、最高責任者の地位にありながらも謙虚な姿勢をとり、「小吏に接するにもまた礼を以

つてし、いまだかつて名を以つて呼ばず」であったという。現代風に言えば、どんな相手でも呼び捨てにしなかったというのだ。また、「夜が明けるやいなや、皇居に駆け付けて朝見ちやうけんの時刻を待ち、一日として怠らなかつたといわれる。

つまり、この人が太祖の信頼をかちとつたのは、①謙虚けんきょ、②精励せいれい、この二つの理由によるところが大きかった。これはいつの時代でも同じなのかもしれない。



教区研修会(初段~三段)